

地球惑星科学委員会地球・人間圏分科会（第 23 期・第 10 回）議事録（案）

日時：平成 29 年 1 月 24 日（火）10：00－12：00

会場：日本学術会議 6 階 6-A(1)(2)会議室

出席者：氷見山幸夫、春山成子、井田仁康、伊藤悟、小口高、蒲生俊敬、鬼頭昭雄、斉藤文紀、佃栄吉、平田直、村山祐司、森田喬、若林芳樹、佐竹健治、松本淳、鈴木康弘、和田章、山形俊男、山田育穂

スカイプ参加：山中康裕、津田敏隆

欠席者：碓井照子、沖大幹、奥村晃史、寶馨、田中和広、宮崎毅、安成哲三、山岡耕春、海津正倫、岡部篤行、小嶋智、平朝彦、高橋圭子、中田節也、山川充夫、山下博樹

配布資料：

資料 1 前回議事録（案）

資料 2 提言（案）「災害軽減と持続的社會の形成に向けた科学と社會の協働・協創の推進」

議題

1. 前回議事録(案)の確認
2. 今期の提言について
3. 提言のフォローアップについて
4. フューチャー・アースについて
5. 出版計画について
6. JpGU/AGU 合同 2017 年大会について
7. その他

議事録案

1. 前回議事録（案）が承認された（資料 1）。
2. 今期の提言について
 - ・提言案（資料 2）をスクリーンに投影し、出席者全員で最初から章・節毎に順次読み進み、加除修正の作業をした。修正点は、年代表記を原則的に西暦基本としたこと、漢字とひらがなの使い方を統一したこと、年次更新される資料の異なる年次が参考資料として用いられていたもので新しい年次に統一したこと、事実記載の間違いを修正したこと、などである。なお災害リスクの捉え方に不一致があったので、関係者で詰めることとした。また地域情報の整備について要旨と本文の間に若干不一致が見られたので、修正を委員長に一任した。
 - ・修正された提言案は直ちに委員全員に電送され、委員は翌日(1 月 25 日)中に修正案を委員長に送付、委員長はそれらを踏まえた最終提言(案)を速やかに作成し、地球惑星科

学委員長に提出することとした。

3. 提言のフォローアップについて

氷見山委員長から公開シンポジウム(学術フォーラム)を今期末に開催することが提案され、了承した。また委員は開催日、タイトル、内容等についての意見を今月(1月)中に委員長に送付することとし、以後の扱いを委員長に一任した。

4. フューチャー・アースについて

フューチャー・アースの動静について情報・意見交換をし、研究プロジェクトの提案・推進に引き続き努めることを確認した。

5. 出版計画について

- ・氷見山委員長から英文出版物について、まだ数名の執筆者から原稿が提出されていないので至急提出されたいとの要請があった。また鈴木委員から和文出版物について、原稿が徐々に集まっているとの報告があった。

6. JpGU-AGU 合同 2017 年大会について

氷見山委員長からフューチャー・アース関係のセッションについての説明と参加の呼びかけがあった。

7. その他

なし。